



# 清流NEWS

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 Tel 042-514-8309

発行日 1月・4月・7月・10月

Vol. 120

発行  
日野市  
環境共生部  
緑と清流課

第4回

## 浅川アユまつり 開催決定!

浅川アユまつりを  
今年も開催します！  
夏休みの1日、  
身近な浅川の自然に  
触れてみませんか？



アユの塩焼きの配布や、ピストン釣り、魚のつかみ捕り体験、魚捕り体験など、定番人気のコーナーのほか、今年は、地域に伝わる伝統漁法の体験もできます。皆様お誘いあわせの上、是非会場にお越しく下さい。

### 開催の目的

日野市は、北に多摩川、中央に浅川が流れる「水」に恵まれた地域です。多摩川のアユは、「江戸前アユ」と呼ばれ、質が良く、江戸時代には将軍に献上されていた歴史があります。現在、河川環境の改善と共にアユの遡上数が再び増加しており、漁業や観光等の資源として再注目されています。

本イベントは、こうした「豊かな自然・水環境」という、日野市の魅力を発信するため、市と日頃多摩川で漁業活動・保全活動を行う多摩川漁業協同組合が連携して開催するもので、イベントを通してより多くの方が多摩川流域の魅力に気づき、そして川に繰り出すことで、環境保全の推進と漁業振興を図るものとなっています。

### 概要

開催日 令和元年8月11日(日) 9:30~14:00

開催場所 浅川ふれあい橋周辺

※入場無料

※雨天・増水時は浅川スポーツ公園

開催内容 ピストン釣り・魚のつかみ捕り(要事前申込)、  
伝統漁法の披露・体験(要事前申込)、アユの塩焼き試食、わくわくフィッシング、ガサガサ教室などなど。飲食店の出店もあります。



※申込み方法など詳細は市ホームページで公開しています。必ずご確認ください。

# 向島用水 水車リニューアル



平成31年3月末に向島用水親水路の水車小屋の水輪と軸を交換し、新たに復活しました。

向島用水親水路水車は平成7年に完成しましたが、この水車はここ数年で著しい破損や劣化が目立ち、稼働が難しい状態でした。水車の水輪の寿命は概ね10年と言われていますが、向島水車も例外ではなかったようで、しばらくの間停止していました。

向島親水路水車は、長年地域の方々に関われてきたということもあり、今回のリニューアルによって、市民の方の都市農業に対する理解を深め、減少しつつある農業用水路や農地の保全に少しでもお役にたてればと願っております。

## 水車まつり

令和元年6月8日(土)に向島用水親水路水車小屋にて、第1回の水車まつりが開催されました。

当日は日野市の水車活用プロジェクト、各自治会を中心に、パネル展示、石臼体験、地場産野菜の販売など、多数イベントが行われ、多くの方々が来場しました。

また、開会のセレモニーでは本水車まつりの実行委員長や、日野市役所環境共生部長から水車小屋の設置からリニューアルに至るまでの説明がありました。

日野市内には、多摩川や浅川から水を引いて多くの水路が通っています。市内の水車は、水車掘公園にある水車を含め、2基ありますが、どちらも経年劣化や心無いいたずらにより停止していたため、3月に向島水車をリニューアルするまで、稼働している水車は市内にありませんでした。今回の水車まつりの盛況を見るに、水車のリニューアルは地域住民にとって、伝統を守っていくためのひとつのきっかけとなったでしょう。



# 浅川潤徳水辺の楽校

## 「浅川で遊ぼう1」

令和元年5月18日(土)、ふれあい橋下の広場で浅川潤徳水辺の楽校による「浅川で遊ぼう1」が開催されました。当日は多くの子どもたちが集まり、石絵や竹馬、ターザンロープ等、自然を感じながらそれぞれが遊びを楽しみました。また、お昼には水辺の楽

校スタッフが用意した豚汁がふるまわれ、参加した子どもやその保護者の方々等、皆さんおいしそうに食べていました。子どもたちだけでなく、保護者の方にとっても良い思い出となったことでしょう。浅川潤徳水辺の楽校推進協議会は、浅川や向島用水を中心に、子どもたちに様々な活動をを通じて水辺で遊ぶ楽しさ

や大切さ等を感じてもらおうことを目的に活動の輪を広げていきます。



6月2日には「浅川で遊ぼう2」として、全国一斉水質調査を行い、浅川等の水質を子どもたちと調査しました。また、年間を通じて潤徳小学校5年生の田植えの授業を支援しています。尚、次回は7月20日に「浅川で遊ぼう3」の浅川の源流探検を行う予定です。

## 用水守を募集しています

用水守制度は、市内の

用水路・河川・湧水地を公民協働により維持管理活動をしていただく制度です。市内の用水路、河

川、湧水地の清掃をボランティアにて行ってくださる方を、随時募集しています。

また、年に一回用水守懇談会を実施しており、用水守のみなさん、各用水組合長、市長と一緒に活動報告や、用水にまつわる様々なお話をしていただいております。



### ◆活動内容

あらかじめ活動範囲を決めてもらい、清掃・保全・緑化等の活動をしていただきます。

### ◆登録資格

個人・企業・自治会・市民団体等

### ◆市の対応

- ・ボランティア保険への加入
- ・ボランティア袋の配布
- ・登録証・腕章の交付

詳細は緑と清流課までお問い合わせください。

みず  
くらし  
まち  
水辺のある風景  
日野50選

### 水辺のある風景 日野50選

選ばれた水辺を紹介します

#### ⑳ こだわりの橋の架かる水路

(東豊田1-34他)

豊な田と書く豊田も、江戸中期の石高は、141・5石と米どころと言われた日野本郷の2、225・3石の6・4%弱に過ぎなかったが、明治初年(1868)には、385・2石に2・7倍に増産され、更に明治末から大正初めの3年間で行った「耕地整理事業」により、6・2ヘクタールの増田と増収の成果を挙げた。



段丘ハケからの多くの湧水路が、東豊田公園傍で豊田用水に合流して

水量は確保しているが、現況では脱農家が進み水田の減少が著しい。用水に面する家の橋は、原則自己

負担で有り、それだけに個性的な橋が架かる。煉瓦造りの太鼓橋や石



橋、昔は必ずあった洗い場を残す家もある。生垣の花を眺めつゝゆったりとした気分の散策が出来る場所になっている。



#### ㉑ 東豊田の田んぼと水路のある風景

(東豊田1-41他)

東豊田の東端地区で川辺堀ノ内との境をなす「堀之内緑道」に沿って豊田地区唯一田圃が残っている場所です。しかし、川辺堀之内から進んでくる「国道予定地」に一部

の土地が懸っておりその工事開始を待っている状態である。明治末の「耕地整理事業」で増田となった場所でもあり、多くのお米を作ってきたが、この地区に限らず日野市全体としても、都市農家個人として農業経



豊田用水と水田地

営を続けることへの課題は数多くあり、行政・支援者と一体となった対策が喫緊の課題となっている。(文&写真・みずとくらすひの 加地 勝)

みずとくらすひの 加地 勝



正面堀之内緑道、宅横の細い水路が田圃への流路



「国道予定地」になり工事を待つ場所

# 北川原公園の一部リニューアルをしました！

平成30年9月1日に開園した北川原公園ですが、開園後に頂いたご意見やご要望をもとに一部リニューアルを行いました。

遊具広場の再整備を行いました。おかげさまでたくさんの方にご利用していただいたこともあり、芝生がうまく育たないという状況があったため、健康遊具広場と同じダスト舗装に変更しました。そのほか、消防団の練習にも使用できるような散水栓の設置も行いました。より利用しやすくなった北川原公園をぜひご利用ください。



所在地 日野市万願寺2-350-3外

駐車場有

第一駐車場	20台
第二駐車場	25台 (うち1台は障害者用駐車場)
料金	入庫～15分 無料
	15分～60分 100円
	以降1時間ごと 100円
	(最大料金なし)



## ●大名淵公園 (街区公園76)

所在地…東平山1-1-17 / 面積…252㎡ / 開園日…昭和56年4月1日

浅川の流れは古くからこの台地の南方崖下に突き当たって大きな淵を形づくり、人々はそのを大名淵と呼んでいました。

なぜ大名淵と呼ぶようになったかの由来は不明です。一説には、その崖上の台地(この公園の地をふくむ)に昔土豪の居館があったらしいと伝えられました。別確認があった訳ではありません。

唯ここが元柴山だった頃、狐のすみかがあったり、古い円鏡を二つ掘り出したという話は本当です。

## ●矢崎公園 (街区公園73)

所在地…豊田2-2-0231 / 面積…251㎡ / 開園日…昭和55年7月1日

この公園は、豊田のうちの矢崎と呼ぶ土地にある。もと浅川南、平山の矢崎と隣り合わせていた。



(C) 2017 PASCO CORPORATION.  
(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.  
いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

全国には、矢にゆかりのある地名(矢立、初矢、矢コトなど)は少なくない。柳田国男はこのような矢に縁のある名を持つものは、境の標示であろうと見ていた。  
この矢崎もその一つであるように思われる。平山には昔武者が遠矢を射かけて、その矢の届いた地であるという伝説もある。

## 春の市内一斉清掃

市では、「日野市みんなでまちをきれいに  
する条例」に基づき、毎年5月（春）と11月  
（秋）の最終日曜日を「市民みんなでまちを  
きれいにする日」としています。回数を重ね  
ていくごとに、参加する方が増え「わがまち  
をきれいにする」意識が、とても高まってい  
るのだと感じています。

市内一斉清掃は自治会、学生ボランティア  
等、様々な団体の方々にご協力をいただき、  
この活動を今後の地域の美化活動を進めるき  
っかけとして、また、皆さんの交流を深め地域



明星大学ボランティア  
の皆さんだよ！



実践女子大学ボランティア  
の皆さんだよ！



のつながりを強めるきっかけ  
づくりとしていただければ幸  
いです。  
今年度の春の一斉清掃にも  
明星大学、実践女子大学の総  
勢110名の学生の皆さんが自治  
会の方々と駅前や通学地等の  
清掃を行ってくれました。  
今回は、令和元年11月24日  
に秋の一斉清掃を予定してお  
ります。ご協力よろしくお願  
いします。

### 【環境保全課】

### 令和元年度 春の一斉清掃

参加団体（組）	282	収 集 量 (kg)	可燃	31,180
参加人数（人）	16,600		不燃	900

## 「歩きたくなるまちづくり」を 進めています。

### 浅川・多摩川の合流点に トイレを設置しました

「歩きたくなるまちづくり」  
事業では、地域の中で自然と  
歩きたくなる環境をつくるこ  
とにより、市民の皆様の健康  
づくりにつながる取組みを進  
めています。

今回トイレを設置したのは、  
浅川・多摩川の合流点の遊歩  
道沿いです。おちかわ地区広  
場のすぐ近くとなっております。  
す。

浅川沿いへのトイレの設置  
は平山橋の下流側に一ヶ所、  
ふれあい橋の上流側へ一ヶ所、  
今回の合流点に一ヶ所で、合  
計三か所への設置が完了しま  
した。

無理なく安心して運動や散  
策をするには、ベンチやトイ  
レがあると良いというご意見  
が市民の皆様から共通して寄  
せられていることから、多く

の市民の皆様に親しまれてい  
る浅川の遊歩道沿いを皮切り  
に、安心して歩いていただ  
けるようトイレやベンチを設  
置を進めてきました。

今年度からは多摩川沿い  
にもトイレの設置を行います。

遊歩道の散策やサイクリン  
グ、釣りなどで、近くを通  
た際にぜひ利用していただ  
ければと思います。



## 浅川流域連携事業

# 第9回 あさかわ写真コンクール

## ～しぜん・ひと・まち～

あさかわ写真コンクールは、日野市の中央を流れる「浅川」の魅力を広く人々に伝えるため、日野市と八王子市の連携事業として開催しています。

今年であさかわ写真コンクールは9回目を迎え、これまでにとくさんの方々から、浅川と人のふれあい、紹介したい浅川の風景、浅川の生き物など、浅川を題材にした写真を応募していただいております。募集要項は以下のとおりです。

**募集期間**：令和元年5月7日～令和元年9月2日（必着）

**撮影範囲**：浅川（北浅川）、南浅川 ※支流は除きます。

- 応募条件**：
- ・プリントした写真で応募の場合は、縁無しA4サイズ（210×297mm）であること。
  - ・電子データで応募の場合はJPEG形式であること。組写真は対象外とします。
  - ・未発表及び他に応募していない、自分で撮影した作品であること。
  - ・極端な補正、合成等の加工を行った作品でないこと。
  - ・撮影のため環境に人為的な加工をするなど、生きものや環境にダメージを与えずに撮った写真であること。
  - ・縦、横、カラー、モノクロの区分はありません。

**部門**：中学生以下の部、一般の部（高校生以上）

**応募点数**：ひとり5点まで

**応募方法**：郵送・電子メールいずれの場合にも、必要事項を明記した所定の応募用紙を同封・添付して、ご応募ください。電子メールでの応募の場合は、1通につき作品データ1点の添付としてください。（メール容量が5MBまで）

**応募先**：〒191-8686 日野市神明一丁目12番地の1  
日野市緑と清流課 あさかわ写真コンクール担当 宛  
メールアドレス seiryu@city.hino.lg.jp

詳細な募集要項は、緑と清流課窓口や市のホームページ等で入手できます。  
その他、詳細は緑と清流課までお問い合わせください。



### 清流ニュースにひとこと

清流ニュースに、「こういう記事を載せて欲しい！」や「こんなイベントを企画して欲しい！」など、皆さんからのご意見・ご要望を募集したいと思います。次号以降の清流ニュースの編集の参考にさせていただきます。

### 宛先

（お手紙、FAX、メール等でお願ひします）  
日野市役所 環境共生部 緑と清流課  
清流ニュース担当宛て  
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1  
FAX 042-583-4483  
メール seiryu@city.hino.lg.jp



### ヒヨドリの不思議

#### 〈日本中で見られる?〉

前号で、ムクドリをスズメとハトの中間サイズの「ものさし鳥」として紹介しましたが、ムクドリよりヒヨドリのほうがものさし鳥に相応しいと、私は考えています。「ヒヨ」という声、長めの尾でわかりやすいし、全国各地で1年中見られるからです。

これも過去に書きましたが、私は日野市民だった故高野伸二氏が著した『フィールドガイド日本の野鳥』の改訂を担当しています。同書の分布図をより充実させるために、日本の島々での鳥の分布を調べたところ、スズメやカラスがいない島

はいくつもありましたが、ヒヨドリがいない島はありませんでした。日本で最も広く分布している野鳥は、ヒヨドリなのかも知れません。

#### 〈都市化と渡りの不思議〉

今では都市部でも繁殖して、低地で1年中見られるヒヨドリですが、私が野鳥観察を始めた1960年代前半までは、よく見られるのは秋冬だけで、春夏の繁殖期には山や林に移動すると考えられていました。その頃、ヒヨドリは緑が茂った中にいて、今のように開けた場所に出てくることはめったになかった記憶があります。1960年代後半に始まったらしいヒヨドリの都市化につ

いてよくわかっているわけではありませんが、私には、ヒヨドリが生活空間を広げたことと関係しているように思えます。

秋には、全国的に西や南に渡るヒヨドリの群れが見られますが、分布域は日本近辺だけなので、どこからどこへ移動しているか?よくわかっていません。南の島のヒヨドリは少し色が濃く、冬に訪ねるとそれよりやや淡く、本州などから飛来したと思われるヒヨドリも見かけます。でも、さほど多くはないようだし、台湾やフィリピン北部にもいるとされていますが、ごく一部の地域のみならず、長距離の渡りは夜、暗いうちが原則ですが、ヒヨドリの移動は朝が多いので、あまり遠くまでは飛んで行っていないようです。

#### 〈幼鳥の見分け方〉

日本野鳥の会では、『フィールドガイド日本の野鳥』のほか、各地で普通に見られる野鳥を中心にした初心者向けの図鑑『新・山野の鳥』も発行



ヒヨドリの成鳥：尾羽の付け根の羽毛(下尾筒、この写真では枝の下に見える)には、白い縁取りが目立つ。



ヒヨドリの幼鳥：尾羽が伸びて成鳥のような体型になっても、白い縁取りが目立つ下尾筒は伸びていない。(声が成鳥より細いのも、幼鳥の識別点)

しています。私はそこでのヒヨドリの幼鳥の図版を、2015年に修正しました。ヒヨドリのひなは巣立ち直後は小さくてわかりやすいのですが、短期間で尾羽も伸びて、一見すると成鳥のような姿になります。ところが、成鳥のような体型になっても、成鳥では特徴的な白い縁取りのある下尾筒(尾羽の付け根にある羽毛)が伸びていないことに気づき、それまでの図版に描かれていた下尾筒の部分削除しました。

文 (公財)日本野鳥の会

主席研究員 安西英明

写真 金子精一

#### あとがき

7月を迎え、早いもので2019年も折り返しとなりました。半年が経過した中で、今年の大きなニュースといえどもやはり、元号が平成から令和に替わったことでしょうか。2019年4月30日をもって、30年以上続いた平成という時代が終わりを迎えました。それに伴い、私たちはそれぞれの思いを胸に、新たな時代に歩みを進めていくこととなりました。

平成は、近年では日本国内で唯一大きな戦争がなかった時代です。現在の国内情勢に目を向けると、様々な問題で議論が絶えない状況になっていきますが、令和においても、平和に対する意志は国民が一丸となって継続できることを願うばかりです。

さて、清流ニュースも皆様に支えられ、無事令和の時代を迎えることができました。毎度ご愛読いただいている皆様には深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。これからも様々なニュースを皆様にお届けできるように一同努力していきます。

今後ともご愛読いただきませう、よろしくお願ひ致します。(大沼)